



秋田県指定無形民俗文化財・大仙市指定無形民俗文化財

大曲の大綱引き・小正月行事2025

大曲の綱引きと小正月行事は、江戸時代の享保年間（1727年頃）から行われている民俗行事です。
大曲の綱引きは平成23年3月に【秋田県指定無形民俗文化財】に指定され、
鳥子舞は平成3年12月に【大仙市指定無形民俗文化財】に指定されています。

このチラシの案内をよくご覧いただき、皆様でぜひ参加してください。

2025年2月15日
2月第3土曜日

2019年から、2月第3土曜日の
開催になっています。
(従来は2月15日固定)

このチラシは1月20日の段階で作成しています。
状況によっては内容が変更になることをご了承
ください。

【鳥子舞&御神木争奪】 諏訪神社境内 特設テント

【鳥子舞】 諏訪神社境内 特設テント

14時～

市神社（祭神・愛宕大権現）の
祭典で、商売繁盛・五穀豊穡を
祈願し、様々な舞（五調子・柳
舞・鳥子舞）を奉納します。
舞の奉納が終わると、鳥冠をつ
けた斎主が商売繁盛・家内安全
の御利益があるありがたい御神
木を歳徳（あき）の方向に投げ、
市民の皆さんがこれを手にしよ
うと争奪戦を行います。



【御神木争奪】

14時45分頃～ 諏訪神社境内

◆御神木の争奪の際には、大勢
の人が御神木に殺到します。奪
い合うために危険な行為がないよ
う、ケガをせぬようくれぐれもご注
意下さい。

◆鳥子舞が終了後、入手した御
神木ではない偽物をありがたい
品として販売する行為が見られ
ます。偽物にご注意ください。



どなたでも
参加できます

【どんど焼】 諏訪神社境内

どなたでも
持参できます

受付時間：8～16時 ※受付時間を厳守ください。
受付場所：鳥居入ってすぐ左側

一年間、皆さまのご守護をいただいたお札・お守り・破魔矢・
お宮・だるま・しめ飾り・門松などの正月飾りを、お祓い
の後で天火として昇神させるのが【どんど焼き】です。神
様が入っているものですので、決してゴミ箱へ捨てずに、
大切なものなので【どんど焼き】で昇神してください。受
付時間内に鳥居入ってすぐ右側の奉安所へお持ちくださ
い。密集を防止するため順番を守り、係員の指示に従っ
てください。

持参に当たっての注意事項

焼かれないもの：

正月飾りや神符・縁起物などから、プラスチックなどの
化学製品・塩化ビニール製品は必ず取り外した上でご持
参ください。焼却時にダイオキシンや有害物質が発生し
て危険です。空きビン・餅・ミカンなどは燃えませんが
絶対に出さないで下さい。

奉安所での受付は当日8時より16時までです。
受付時間を必ず厳守ください。

【ふきどり餅 配布】 諏訪神社境内

鳥子舞が終了次第。

例年の餅撒きはせず本殿前で配布します。

地元菓子組合の皆さんが作ってくれた縁起の良い【ふきど
り餅（福取り餅）】。小正月に食べると一年間の福を身に寄
せると伝えられており、各地で呼び名や味付けが異なります。
数に限りがありますので早めにご来場ください。

大綱引き&綱御幸・財ふり棒

17時30分～ 綱降ろし(諏訪神社境内)
20時30分頃～ 大綱引き勝負(大町交差点)



どなたでも
参加できます

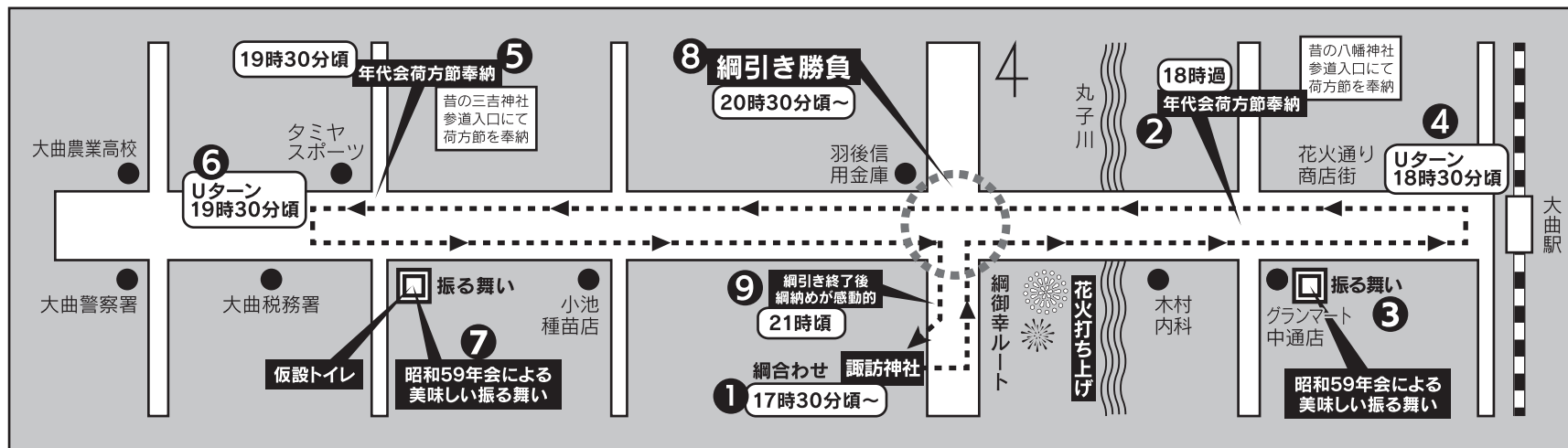
享保（1716～1736年）の頃に始まり、290有余年前の
歴史を持ち、街を上丁・下丁に二分して75尋（136m）の
大綱を数百人で引き合う勇壮な伝統行事です。
夕刻、若者衆に引かれた綱は、諏訪神社を出発して、市内
を約3km御幸し、その途中途中で綱に結わえられた御神
木である財振り棒を回すことで人々へ財を振りまくと言
われています。

綱は蛇体を現し、市内を御幸するときには先頭が蛇頭にな
ります。綱に触ると丈夫になるという言い伝えがあり、
綱引き勝負の結果で上丁が勝てば米が値上がりし、下丁
が勝てば豆が値上がりするというその年の米の作況が占
われます。

参加に当たっての注意事項

※ウラ面に記載された詳細をよくお読みの上で、ぜひ参加ください。
※財振り棒・綱・縄・御幣など綱引行事に関連する物は神様へ奉納
するものなので一切持ち帰らないください。

時間はあくまで目安です。
天候、路面状況、目安時間より前後することを予めご了承ください。



顧 委 副 副 委 委 委 委 委 委 委	員 委 委	員 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員	問 長 長 長 員 員 員 員 員 員 員	塩 藤 挽 後 伊 民 黑 丸 佐 伊 高	谷 田 野 藤 藤 谷 澤 谷 藤 藤 橋	國 茂 実 隆 雅 勇 竜	太 治 之 稔 章 彦 輝 幸 涉 靖 輔
---	-------------	---	---	---	---	---------------------------------	---

【綱を守り隊メンバー】

昭和40年会	藤澤進朗
昭和41年会	進藤勉
昭和42年会	佐藤健悟
昭和43年会	辻卓也
昭和44年会	吉川広樹
昭和45年会	高柳智史
昭和46年会	伊藤映
昭和47年会	木村勝幸
昭和48年会	熊谷公
昭和49年会	杉本亮
昭和50年会	加賀谷仁
昭和51年会	高橋竜輔
昭和52年会	加藤亮
昭和53年会	齊藤靖之
昭和54年会	齋藤健太郎
昭和55年会	松塚智宏
昭和56年会	藤井邦欣
昭和57年会	伊藤健
昭和58年会	毛利俊介

昭和59年会 佐藤 悠

昭和60年会 佐々木 了之

★【綱の先頭で頭ちょんちょん】

(綱の御幸中はいつでもOK)

綱に触ると丈夫（まめ）になり一年風邪を引かないという言い伝えがあり、また子どもが蛇の頭を現す綱の先頭で頭をちょんちょんしてもらうと、賢くなるとも言い伝えられています。

★【お楽しみ菓子まき】

20時30分過ぎの綱引き勝負前に大曲小学校の生徒達による菓子まきをします。

★【子どもは
綱に乗って!】

(綱の御幸中は
いつでもOK)

市内を綱を引いて御幸する際には、子どもなら誰でも自由に綱に乗ることができます。



花火情報

丸子橋を通過時（駅から戻り時）に
花火を打ち上げます。

※本イベントで打ち上げる花火は「大仙市地域づくり事業補助金」を活用し実施しております。



【綱の市内御幸】

綱を引いて諏訪神社から出発し、大曲駅前から大曲税務署前へ練り歩き、最後に大町交差点に帰ってきます。今年42歳の厄年梵天の大曲昭和59年会と、サポートする昭和60年会の皆さんが綱を引き御幸します。



【財振以棒の攻防】

御幸する綱の中央部分に結わえられたご神木「財振り棒」を商家の店前で回すことで、商家の財を地域に振りまいて欲しい願いが由来です。各年代会有志が攻守に分かれて激しくもみ合い、大曲交差点での全員参加の最後の攻防は見物。



【大綱引きの勝負】

市内の御幸を終えた綱は、大町交差点から東西に引かれ、最後の大綱引き勝負が行われます。交差点を挟んで警察署側にお住まいの方は上丁、駅側に住まいの方は下丁に分かれて綱を引き合います。どなたでも参加できます。

車両通行時の協力と雪撒きについて

◆車両通行止めになる道路

【20時～22時30分頃】

- ・浜町交差点から森本仏壇店まで南北方向
- ・兼松園から小池種苗店まで東西方向

◆雪撒きにご協力ください

路面に雪がないと綱が走らず、痛みます。
御幸の道路に面した皆さまは、当日夕方より
道路への雪まきにご協力ください。
(薄く広くが綱を引きやすいベストです)

参加にあたっての注意事項

◆当日は街頭・店頭照明を点灯し、御幸ルート
を明るくできるようご協力ください。

- ◆ 綱の御幸や終了後の綱納めは観覧いただけます。
- ◆ 危険な行為や他者へ迷惑をかける行為は慎んで下さい。安全な進行を第一にしますので、綱引き保存会係員の指示に従ってください。
- ◆ 飲酒運転は絶対にしないでください。
- ◆ 寒いので風邪など引かぬよう温かい服装でお越しください。